

報告冊子

令和6年度 各務原市 PTA 連合会 研究大会

報告冊子ページ構成

<お礼>

<おしえてアンケート集計>

1. 実践発表の感想
2. 子育て講演会の感想
3. その他、感想や意見など

付. 「おしえて アンケート」元版

<市P連「三行詩コンクール」表彰者>



各務原市 PTA 連合会

お 礼

各務原市 PTA 連合会

会 長 土方 隆行

研究大会の動画をご視聴いただきありがとうございました。皆さんどんな感想をもたれたのでしょうか？これまでに寄せいただいたアンケートには「お手伝いを通じて自立心や他者への配慮する気持ちが生まれることがわかりました。お手伝いを継続することはなかなか難しいかもしれませんが、PTA の取り組みが子どもの気づきに繋がって良かったと思いました。」「あいさつ運動について、先生や保護者、地域の人たちと協力して取り組んでいることが素晴らしいと思います。初めはあいさつを返してくれない子も、だんだんできるようになっていけると思うので、これからも続けて欲しいと思います。」「大人が自分の不安にまず気付いていないと、子供を追い詰めてしまいそうだと感じました。子供の居場所を作ることが大事だと実感しました。居場所を作る為に話を聞いてあげること、信じてあげること、失敗させること、同じ目線で感じて考えてあげたいと思いました。」など、実践発表や子育て講演会の動画を熱心に視聴していただき、そこから学んだ点が多数あるという記述をたくさん目にします。詳しくは、本報告書の「おしえてアンケート」集計ページをご覧くださいと思います。

また、本報告書には「三行詩コンクール」表彰者を掲載したページもあります。表彰者の皆様には、本来なら研究大会の折に、市民会館のステージ上で表彰状をお渡しするのですが、今回も残念ながらそれができないので、表彰状を郵送させていただいたことを報告させていただきます。

最後になりましたが、素敵な発表をしていただきました蘇原第二小学校 P T A、鶉沼中学校 P T A の皆様、そして子育てに関して参考になるお話をさせていただきました西野博之様、本当にありがとうございました。また、視聴いただいたり、アンケートにお答えいただいたりした皆様、本当にありがとうございました。関係していただいた全ての皆様に心よりお礼を申し上げます。

1. 実践発表の感想

<蘇原第二小学校 PTA に寄せられた感想の一部>

- お手伝いビンゴはゲームとお手伝いと組み合わせるという考えが良い。アンケートも、児童と保護者両方にとることですっきり考察ができる。家族の一員としての関わり方、お互いに感謝の気持ちを持つことができる。
- お手伝いビンゴは素敵なアイデアだと思いました。自分の学校しか知らなかったので、他の小学校の取り組みが知れてよかったです
- お手伝いビンゴの取り組みについて、「家の仕事は親がやるもの」ではないということを考える良い機会になったと思います。家族の一員としてお手伝いをし、助け合いながら過ごしていけるとよいと思います。
- 話そう!語ろう!我が家の約束運動はゲーム感覚(ビンゴ)で低学年から楽しく取り組み、親子のやり取りが出来ていいと思った
- お手伝いなどをして普段、保護者の方が家庭で行うことをお子さんが実際に取り組み、気持ちを共有できて良いと思いました。
- お手伝いをゲームの様な感じでやることにより、子供たちが積極的に楽しくお手伝いをしてくれそうで、良いと思いました。
- お手伝いに関して、各家庭で冬休みに行われている子どもが多かった。いつも当たり前のようにご飯を作ってくれたり洗濯してくれたり家事について実際に見る機会が増えて、ありがとうという感謝の声が出るようになった。
- 家庭でのお手伝いを通して、どんなことをお手伝いするのか等、親子で話す機会があるのはとても素敵な取り組みだと感じました。
- 携帯の普及でコミュニケーション不足となった中で、親子の会話が増やせる一つの方法だと思い、良い取り組みだと思った。またアンケートを取ると子供の本音が聞け、またその結果から大多数は親子の関係を持つことを嫌がってはいないと認識でき、子育てを頑張ろうと思えるのではないかと思う。
- 分かりやすい内容で、ゲームのように楽しんで活動できていました。
- 本校にはない取り組みがあって新鮮だった。
- 働いている方が多い今、親子のコミュニケーションをとるいい方法だと思いました。

○ビンゴカードなど楽しそうで分かりやすい物を使って実践活動をするのは取り組みやすそうでした。発表内容もとても分かり易くまとめられていました。

○お手伝い、懐かしいなあとまず思いました。ただ、うちも小学生の時は言わなきゃやらなかったけど、今は進んでいろいろ手伝ってくれます。「子は親の背中を見て育つ」です。

○冒頭で銀賞を取ったことなどがあつたが、どういう観点で賞をとったか。賞の詳細が知りたい。おてつだいビンゴについては、子ども達の意欲を掻き立てることに繋がり、家庭でのコミュニケーションに繋がり、絆を深めることになる為良いと思う。

○「お手伝いをしよう」キャンペーンは確かにその期間は子どもは宿題のようにお手伝いをしてくれます。親子のコミュニケーションにもつながって良いと思います。ただキャンペーン後お手伝いが継続出来るかはハードルが高いですが、お手伝いのキッカケがあることでやってみようという気持ちが出るのは親もありがたいです。今後もこのような取り組みを継続してもらえたら。

○お手伝いを通じて自立心や他者への配慮する気持ちが生まれることがわかりました。お手伝いを継続することはなかなか難しいかもしれませんが、PTAの取り組みが子どもの気づきに繋がって良かったと思いました。

< 鶴沼中学校 PTA に寄せられた感想の一部 >

○学校、保護者、地域住民と温かい関係づくりが素晴らしいと思います。旗当番をやっていると下を向いて歩いている子が多いです。あいさつ運動、いいなと思いました。

○あいさつ運動について、先生や保護者、地域の人たちと協力して取り組んでいることが素晴らしいと思います。初めはあいさつを返してくれない子も、だんだんできるようになっていけると思うので、これからも続けて欲しいと思います。

○あいさつ活動については本校でもやりました。あいさつが返ってくると、とても気持ちの良い気分になれます。

○学校のみではなく、地域の方と関わりそれぞれができることをできる時で行うことの大切さを確認できました。あいさつも生徒からではなく、保護者、地域からまずは始めること。そして全体へとつなげる考え方がよかった。

○挨拶運動は動画で実際の様子を見れて分かりやすかった。

○チラシを作成し「あいさつの日」の取り組みを地域の方や企業の方に知ってもらおう活動をしていて素晴らしいと思いました。

○地域に根づく、子供も大人も関われる、お金をかけずに出来る取り組める内容なのでとてもいい運動だと思います。どこで実践しても、いつ実践してもいい運動なので、仕事に行く前に家の前でも出来るので取り組みやすくいいですね。

○あいさつの日をきっかけに地域活性化して元気になっていく取り組みで良いと思いました。保護者は当番などではなくできる範囲で取り組めるのも良いと思いました。続けていくことであいさつの日かどうか関係なく普段からあいさつのまち＝各務原市となっていけば良いと思いました。

○みんなに無理のない範囲で最大の効果を挙げられていてステキだと思った。

○私も旗当番で子どもたちに、先にあいさつしてもらいました。とても、気持ち良く仕事に行けました。中学生だと思春期で恥ずかしい子もいると思うけど、あいさつはされて嫌な事はないと思うし、どんどん活動を増やしていけるといいなと思います。

○挨拶活動を地域の皆さんですするというのはすごい事だなと思いました。これをきっかけにして子供達が普段から挨拶をするようになっていくと良いなと思います。

○地域のコミュニティが少なくなる中で挨拶の取り組みはとても良いと思った。助けが必要になった時など、普段から他人と話す機会がないとなかなか言い出しにくいものだと思うが、常日頃からこのような活動をしていけば、多少なりとも地域で良いコミュニティができていくと思う。

○あいさつの活動はよくあるが、地域全体で行われているのはすごく良いと思った。みんなが笑顔であいさつしている姿が印象的だった。

○挨拶の大切さを感じつつも、昨今のニュースは怖いので知らない人と挨拶を交わす難しさも感じました。

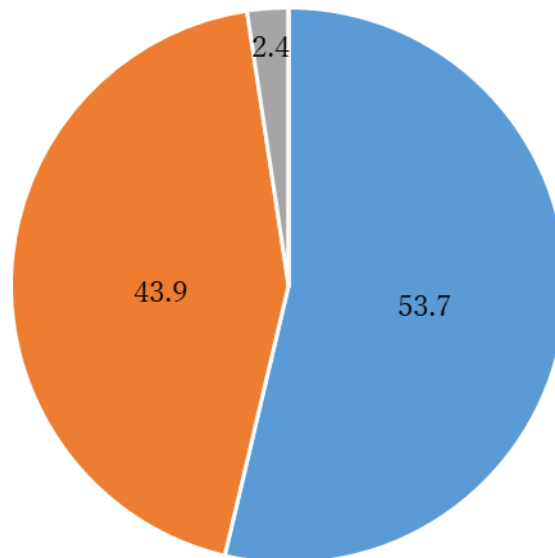
○各校で地域と連動して行う取り組みはとても素晴らしいと思う。将来的には、通学路の児童宅以外の方などもあいさつをし、あいさつの輪が校区全体に広がると良いと思う。地域で子供を見守る環境にしていきたい。

○あいさつ運動は本校校区でも行われており、親子はもちろん地域全体で意識する活動日が継続してあることで、子どもたちの自然なあいさつにつながっていることが旗当番をしていて実感できます。今後も大切にしていきたい活動ですね。

○あいさつ運動の活動で、企業にも呼びかけていること、色々な方法で情報を広めていることに驚きました。活動の日以外にも自然とあいさつができる生徒さん、地域に根付く活動を続けている鶴沼中PTAの方々の取り組みと努力、とても素晴らしいと思いました。

2. 子育て講演会の感想

子育て講演会の感想（アンケート総数41 数字は%）



■ とても参考になった ■ 参考になった ■ あまり参考にならなかった ■ 参考にならなかった

<寄せられた感想の一部>

○小学校の低学年でいじめが集中していることにびっくりしました。大人が子どもに求めることが多く、それが子どものストレスになっているということについて改めて考えさせられました。子どもは大人の所有物ではないし、子どもには子どもの考えもあるので、コミュニケーションをもっととって寄り添ってあげたら良いと思いました。

○親の思いを話すばかりでなく、子どもとコミュニケーションをとり、話し合い、お互いが幸せを感じられるように過ごしていきたいです。

○現在不登校中なので、子供の考えを尊重させたいと思いました。

○不登校の子の気持ち、子どもの気持ちをよく知れた。子どもの幸せにはまず大人が幸せを感じることの大切さを改めて感じました。私も子どももこのままで良いのだと安心できました。

○めちゃくちゃよかった。西野先生呼べちゃうことがすごい。役員さんが「各務原市に！」って思っただけで、西野先生講演実現に向けて尽力くださった皆様に感謝しかありません。そして、この講演をオンラインで配信してくださったことにも感謝です。

○コロナ中の給食の話が特によかった。子どもたちの自主性、創意工夫、どんな時も交わりとかかわりは、命にとって必須。それをサポートできた経験は大人にも子供にも宝物になると思った。

○この講演内容を大人だけでなく、子どもにも知ってもらいたい。

○「学校のシステムが今の子供に合っていない」というような内容が途中で出てきて、とても印象的でした。

○丁度子供のゲームの使用時間が長くて悩んでいたところだったので、とても良い参考になりました。

○子どもの自己肯定感が低いことに悩んでいました。講演を聞いて、大人の不安が原因であることが分かりました。まずは「ちゃんと、普通」という言葉を使わないことから始めてみたいと思いました。

○自分の子供も、今は普通に学校に通っていますがいつ何かのきっかけで不登校になる可能性もあるので、とてもためになる話だと思いました。個性を大事にして、子供としっかり向き合っていきたいといけないなと思いました。

○なんでも否定や指摘が入る今の社会で、周りのことを気にせず、また子供の自主性を重んじる姿勢が大切だと思わせてもらった。

○親の理想を子どもに押し付けすぎて、子どもの自己肯定感を下げてしまっていたことを痛感しました。子どもの自主性を尊重して日々の生活を見守りたいです。

○子供への声掛けを見直すきっかけとなった。親が子供の事を思ってやらせる習い事などは、親の押し付けで子供のやりたい事を応援、手助けすることが大切。私の子供の頃は外で遊ぶ子供が多かったが、公園などを観ても少なくなったなと思います。ボール遊びなど身体を動かし、汗をかいて遊ぶ、子供らしい姿が減ったなと思います。ここ10年、20年で物価高や税金など以前に比べ、生活が苦しい世の中になってしまった。日々の生活に追われて日々を大人が過ごしているこのことの影響を子供も受けている。日本の景気が上がれば、様々な事が変わっていく。

○子供が学校に行かないという時期があり、自分も一度は悩んだことがあったことだったので、話が聞いてよかった。

○大人の自分の不安にまず気付いていないと、子供を追い詰めてしまいそうだと感じました。子供の居場所を作ることが大事だと実感しました。居場所を作る為に話を聞いてあげること、信じてあげること、失敗させること、同じ目線で感じて考えてあげたいと思いました。ゲームのルールについてもすごく考えて実践して失敗してきましたが、お互いが辛くないルールで落ち着きました。話を聞いてそれでよかったと安心しました。

○我が家だけの悩みではなく安心しました。声のかけ方や親の心の持ちようが参考になりました。感情的に怒らず子どもを信じてみたいと思います。

○反抗期の子どもに対して考え過ぎていたが、まずは親が楽しく幸せに暮らすと言うことを聞いてとても気持ちが楽になった。

○内容は、大変分かりやすく、思わず引き込まれて聞かせてもらいました。特に、～「生きている」ただそれだけで祝福される～というくだりは涙の出る思いでした。私たち大人は、一番大切なことを忘れてしまっているのではないかと痛切に感じました。そして、もう一つは、～おとなが幸せにいてください～という子どもたちからのメッセージです。子どもは、しっかり大人を見ているのだと驚きました。早速、先生のご著書『学校にいかない子どもが見ている世界』を購入しました。今まで、一方通行でしか子どもたちを見ていなかったことがわかりました。子どもたちが、そんな思いでいたことなんて、考えてもいませんでした。表面的に見える姿、発する言葉がその子のすべてだと勘違いしていました。改めて、子どもの世界を垣間見た思いがしました。

○ゲーム依存についての講話の中で、共感すること理解することが大事ということ、本人も罪悪感を持っていることなど今後の参考になりました。

○おとなの不安が子どもの自信を奪うという言葉、耳が痛かったです。子どもを信じて、子どもに任せる。わかっているもなかなかできないですが、改めて大切なことだと考えさせられました。

3. その他、感想や意見など

○動画配信は日にちも、場所も拘束されないのととてもいいですね。

○学校の校区にしばられない、各務原市での交流会があるといいかなと思いました。

○少し各学校の発表が長いと感じました。学校の取り組み紹介はいいですが、沿革などは省いて時間をもっとタイトにしてもいいと思います。

○役員の皆様、準備等大変お疲れさまでした。

○子供が参加できるイベントをたくさん用意するのがよいかと思いました。外に出て、社会とつながるために。親は大変ですが。

○OPTAのあり方、子育てとして地域のあり方、協力することの大切さを学べたらと。今の時代PTAを負担に思う方が多いと感じる。負担を減らし充実させたい

令和6年度 各務原市PTA联合会オンライン研究大会 「おしえて！アンケート」

※ホームページ上のアンケートに直接書き込んでいただくとありがたいです。(2月10日締切)
※用紙に直接記入された場合は、2月10日(月)までに、会長または学校経由等で市P連事務局に提出いただけますようお願いいたします。(FAX058-389-0218も可です)

ご所属のPTA

() PTA

1. 蘇原第二小学校PTAの実践発表について感想をお聞かせください。

2. 鵜沼中学校PTAの実践発表についてご感想をお聞かせください。

3. 子育て講演会(西野博之氏)の感想をお聞かせください。

とても参考になった 参考になった あまり参考にならなかった 参考にならなかった

4. その理由を教えてください。

5. その他、ご意見、ご質問などがありましたらご記入ください。また、市P連として取り組んで欲しいことがありましたら、併せてご記入ください。

以上となります。アンケートの回答は統計的に処理され、ホームページに掲載いたします。また今回の目的外の利用はいたしません。ぜひともご協力をお願いします。

令和6年度 各務原市PTA連合会「三行詩コンクール」
各部門 優秀賞

(敬称略)

部門	学校名	氏名	ふりがな	学年等	作品
小学生 ・ 低学年	鵜三小	羽土 昇利	はど しょうり	1	やらないよ されていやなこと ぜったいに
	鵜二小	兼松 優晴	かねまつ ゆうせい	3	やってみよう あきらめないで そのちょうし
小学生 ・ 高学年	緑苑小	杉浦 雄紀	すぎうら ゆうき	4	おかあさん スマホとぼくは どっちすき？
	陵南小	河合 柚奈	かわい ゆな	4	ママとけんかして ごめんの代わりに せんたくたむ
中学生	桜丘中	佐藤 さくら	さとう さくら	1	石川に 思いを託す 貯金箱
	緑陽中	羽沢 健瑠	はざわ たける	3	一緒に喜ぶ一緒に笑う 一緒に悲しむ一緒に泣く たったその一瞬が僕の支えで宝物
一般	那二小	佐藤 良枝	さとう よしえ	一般	どんとこい！ わがやのそなえに じしんあり
	那三小	村上 薫子	むらかみ のぶこ	一般	「いってきます」と「いってらっしゃい」。「ただいま」と「おかえりなさい」。言える相手がいるこの幸せ。

ご応募ありがとうございました。来年度以降も、心温まる、多くの作品をお待ちしています。



各務原市PTA連合会ホームページ
<https://kakamigaharapta.com>